

タートし、永野・中津川校区の園児は、園児専用バスで送迎することとしています。

教育条件整備の主なものは、学校の防犯対策として町内小学校・中学校の入り口付近に、センサー付きパトライトの設置をするほか、幼稚園園庭フェンス改修工事費、求名小学校及び永野小学校校庭の側溝補修工事費、薩摩中学校プール防水工事費を計上しました。

また、中学校生徒用机・椅子は新JIS規格に対応できるように、年次計画で更新することとしています。

〔社会教育〕

生きがいのある人生と活力ある地域づくりのため生涯学習を更に推進します。

幼児から高齢者までのすべての町民を対象として、特に高齢者については、生きがいづくりを具体的に進めるため、中央公民館及び校区公民館の各種講座をはじめ各団体、グループ、個人による学習に対する支援のほか、だれでも、いつでも、どこでも気軽に学

習の機会が得られる出前講座の充実、更には女性団体の育成、活動の活性化に努めます。

埋蔵文化財事業として、過疎基幹農道整備事業に伴う中津川南地区の蛇穴・甑山遺跡の埋蔵文化財確認発掘調査、及び全面発掘調査と農免農道整備事業に伴う永野西部地区の前畑遺跡の埋蔵文化財確認発掘調査を実施します。

〔財源確保〕

以上が一般会計における主な事業内容ですが、これに見合う財源として、地方交付税14億8,600万円(43・71%)、地方債5億9,850万円(17・6%)、繰入金4億5,294万円(13・32%)、町税2億5,832万6千円(7.6%)、国県支出金3億7,890万8千円(11・14%)等を措置計上しました。平成15年度の予算は、歳入歳出とも34億円で前年度と比較しますと3・33%減です。

次に特別会計について説明します。

〔国民健康保険特別会計〕

国の保険医療制度の抜本的改革に基づき、保健・医療を取り巻く背景は、高齢化等に伴う生活習慣病対策の重点的取り組みとして病気の治療を中心とする医療から予防や健康づくりを重視する医療への転換を求められております。

効果的な保健事業の中で、在宅訪問における総合的健康指導を実施し、特に機会をとらえ、健康チェック、相談並びに家への引きこもりや寝たきりになりがちな高齢者への健康教室等に地域住民と一体となり実践に取り組みます。なお高齢医療費適正化対策事業の指定を受け、医療費の抑制に向け運営の安定化及び推進、レセプト点検体制の充実強化、医療費分析等調査研究等の事業に取り組みます。

〔介護保険特別会計〕

第2期介護保険事業計画期間の移行により、老人保健福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会で検討していたとき、介護保険給付費及び認定者数の見込みによって、介護保険料は基準月額3,600円に据置くことにしました。

高齢化の進展に伴い介護サービスが増える傾向が予想されますが、その予防対策として元気老人対策は重要な課題です。事業運営に係る財政の均衡を保持するよう努め、利用者から信頼される介護サービスの確立を図ります。

〔老人保健医療特別会計〕

先にも申し上げましたとおり高齢化の進展に伴い、町民の老後における健康の保持と適切な医療の確保を図り、壮年期からの疾病の予防のため治療機能訓練に至る総合的な保健医療サービスを提供するとともに、老人医療費の適正化の推進(レセプト点検の充実強化・重複頻回受信者に対する訪問指導等)についても引き続き取り組みます。

〔簡易水道特別会計〕

平成13年度から国庫補助事業で年次的に施設整備を進めてきました。本年度が3年目の最終年度にあたり、本年度は主に配水管の整備を進めます。また、

平成14年度整備した町内各施設等を結ぶ集中監視遠隔システム装置について、試運転を図りながら早めの運用を図ります。

白猿営農飲雑用水施設については、管理組合から町での管理の要望があり検討をおこなってききましたが、平成15年4月1日から町で管理をおこないます。それに向けて、今回祁答院町との「公の施設の区域外設置に関する協議について」並びに給水条例の改正をお願いしたところです。

なお、今後も設備の充実を図り、安心・安全な水の安定供給に努めます。

本年度の予算規模は一般会計34億円、国民健康保険特別会計5億8,196万1千円、簡易水道特別会計2億9,777万5千円、老人保健医療特別会計9億8,747万円、町立診療所特別会計1億5,418万8千円、介護保険特別会計5億653万2千円、合計59億2,792万6千円です。よろしくお願い申し上げます。